

4. 植物

4-1 調査概要

残存緑地及び回復緑地の状況を把握するため、残存緑地については植生調査を、回復緑地については樹種及び樹木の生育状況等の確認を実施した。

4-2 調査年月日及び調査項目

調査年月日及び調査項目を表 4-1 に示す。

表 4-1 調査年月日及び調査内容

調査年月日	調査対象	調査内容
平成 19 年 7 月 24 日	残存緑地	植生調査
平成 19 年 7 月 24 日	回復緑地	生育状況調査

4-3 調査方法

植生調査については、植物社会学手法に基づく被度・群度等（図 4-1 参照）の記録を、生育状況の確認は、目視や写真撮影による樹高や枯れ等の有無の記録を行うこととした。

4-4 調査地点

調査地点は過年度に準じることとし、図 4-2 に示すとおり植生調査及び生育状況調査について、それぞれ残存緑地及び回復緑地の 1 カ所で行うこととした。

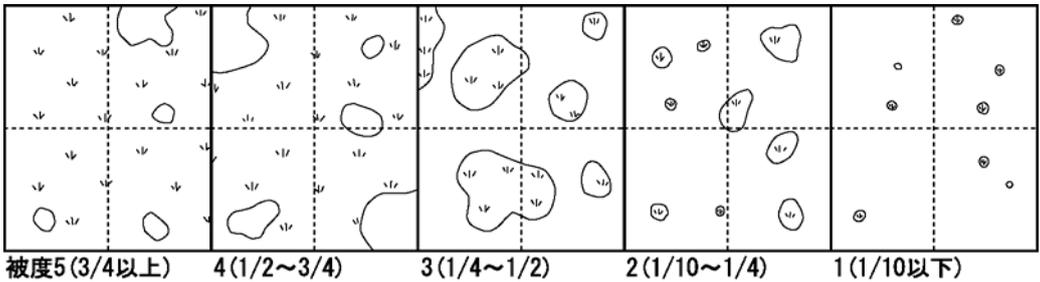
【森林の階層模式】(群落の垂直的位置に着目して区分したものの。)



【被 度】

植物の種がどの程度地表面を覆っている(占める)のかを現し、Branu-Blanquet (1964) の全推定法に基づく階級区分が広く用いられている。この推定法は、植物が地表面を覆う度合いに個体数を組み合わせたもので、被度の階級は次の7段階に区分されている。

- ・ 被度5：調査面積の3/4以上を占めるもの。
- ・ 被度4：調査面積の1/2～3/4以上を占めるもの。
- ・ 被度3：調査面積の1/4～1/2以上を占めるもの。
- ・ 被度2：極めて個体数が多いか、調査面積の1/4～1/10を占めるもの。
- ・ 被度1：個体数が多いが調査面積を占めるのは1/20以下、あるいは調査面積を占めるのは1/10以下で個体数が少ないもの。
- ・ 被度+：個体数も少なく、占める面積も少ないもの。
- ・ 被度r：極めて希に出現するもの。



【群 度】

対象とする区内に個々の植物がどのような配分で生育しているかの測度で、被度同様に次の5段階に区分される。

- ・ 群度5：ある植物が調査区内にカーペット状に一面に生育している状態。
- ・ 群度4：大きな斑紋状、あるいはカーペットのあちこちに穴があいている状態。
- ・ 群度3：小群の斑紋状。
- ・ 群度2：小群をなしているもの。
- ・ 群度1：単独に生育しているもの。

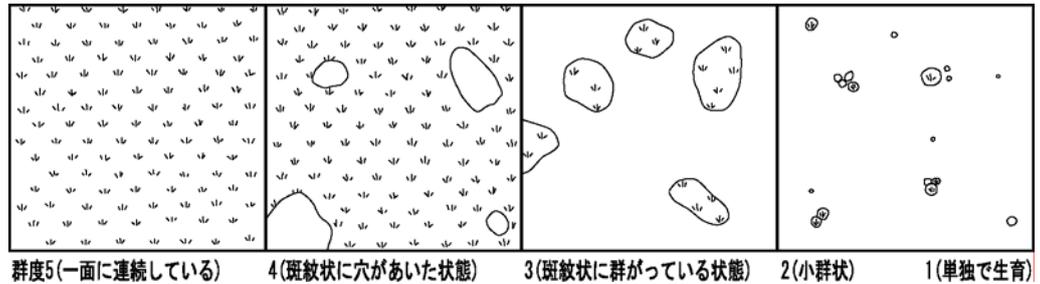


図 4-1 植生調査方法解説

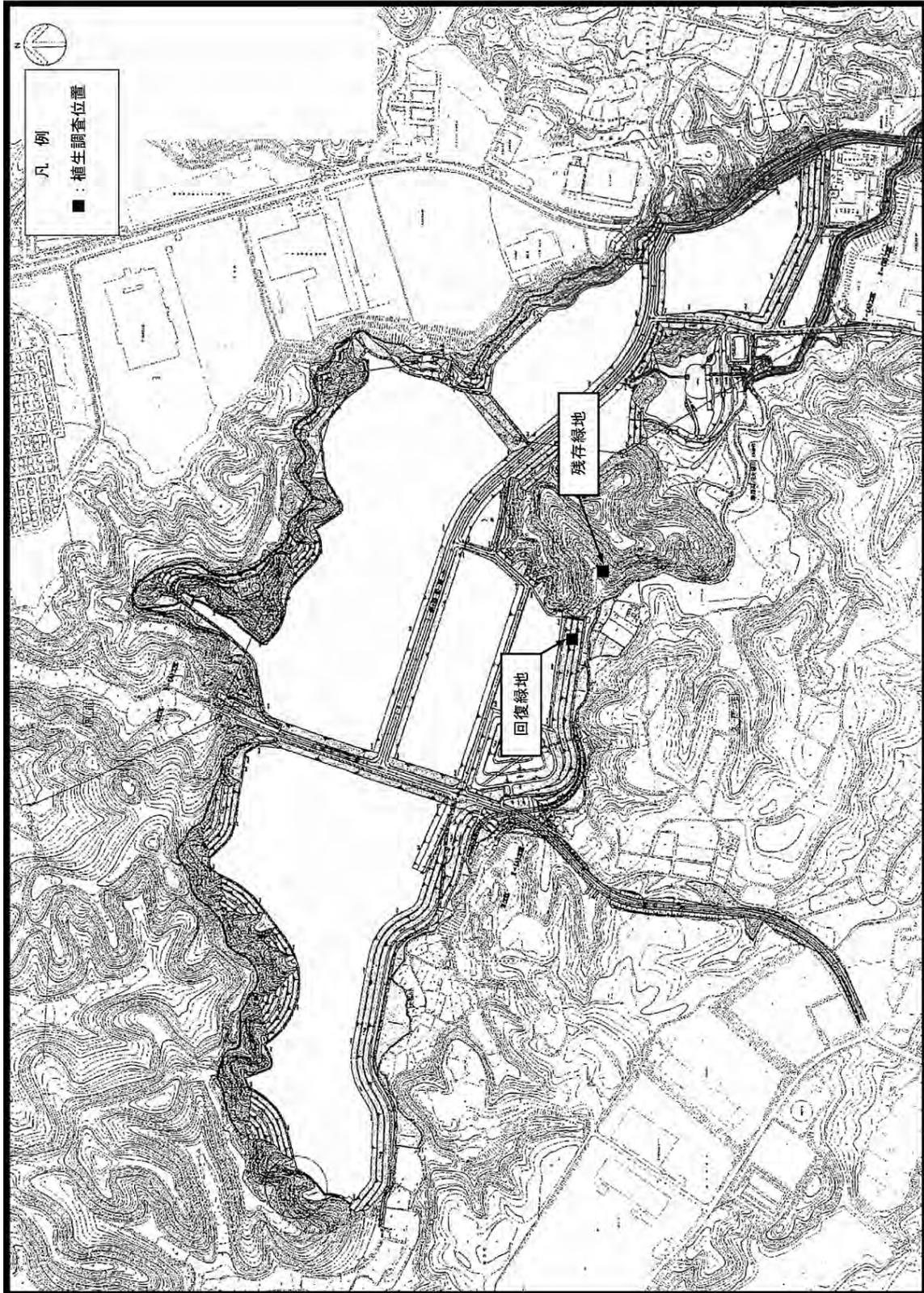


图 4-2 植生調査地点及び生育状況調査地点

4-5 調査結果

施設供用後における残存緑地及び回復緑地の調査結果をそれぞれ以下に示す。

なお、調査状況は資料編の写真に示す。

(1) 残存緑地

残存緑地はスギ・ヒノキの植林地であり、現在は間伐等の手入れがなされておらず、林内はやや暗い。このため、表 4-2 の植生調査結果に示すとおり、草本層の植被率は少ないものであったが、林内には常緑広葉樹の芽生えも認められた。

このため、このまま遷移が進めば亜高木層に優占しているアラカシを主林木とした常緑広葉樹林を経て、この地域の潜在自然植生の一つであるカナメモチーコジイ群集に属する林分になると予想される。

しかしながら、一方ではシダ類の植被率の増加も認められ、管理がなされない現状では、雑然とした林床になる可能性も考えられる。

(2) 回復緑地

調査を行った回復緑地には、アラカシ、クスノキ、クヌギ、コナラ、ヤマザクラ、ヤマモモが植栽されている。これらの生育状況は表 4-3 に示すとおりであり、ほとんどの植栽木は良好な状況であった。

調査地点は南向きの法面で大変日当たりがよく、乾燥による樹木の枯れが懸念されたが、土壌の上には木片チップが敷き詰められており、この木片チップにより影響が軽減されていると考えられる。

さらに、この木片チップは草本類の侵入も抑制しており、今回の調査においても草木層の植被はごくわずかであった。なお、林縁部等には、これまでの調査と同様にツクサやヒメムカシヨモギ、セイタカアワダチソウ等の草本類の生育が確認されたが、現時点では著しい繁茂は認められなかった。

表 4-3 各樹林の生育状況 (回復緑地)

No.	樹種名	樹高	生育状況	No.	樹種名	樹高	生育状況
1	アラカシ	4.64	◎	24	クヌギ*	5.74	○
2	アラカシ	5.59	◎	25	クヌギ*	4.33	○
3	アラカシ	4.28	◎	26	コナラ	4.73	◎
4	アラカシ	5.44	◎	27	コナラ	3.64	○
5	アラカシ	4.72	◎	28	コナラ	4.28	○
6	アラカシ	5.77	◎	29	コナラ	5.49	○
7	アラカシ	5.51	◎	30	コナラ	5.26	◎
8	アラカシ	4.81	○	31	コナラ	6.31	◎
9	アラカシ	6.11	◎	32	コナラ	3.63	◎
10	アラカシ	5.77	◎	33	ヤマザクラ	5.80	◎
11	クスノキ	4.59	◎	34	ヤマザクラ	5.61	◎
12	クスノキ	4.33	◎	35	ヤマザクラ	4.48	◎
13	クスノキ	4.52	◎	36	ヤマモモ	5.71	◎
14	クスノキ	4.20	◎	37	ヤマモモ	5.92	◎
15	クスノキ	4.42	○	38	ヤマモモ	5.30	◎
16	クスノキ	4.38	○	39	ヤマモモ	6.02	◎
17	クスノキ	5.35	◎	40	ヤマモモ	6.03	◎
18	クスノキ	5.12	◎	41	ヤマモモ	4.71	◎
19	クスノキ	5.01	◎	42	ヤマモモ	5.70	◎
20	クスノキ	6.20	○	43	ヤマモモ	4.66	◎
21	クヌギ*	3.37	○				
22	クヌギ*	4.80	○				
23	クヌギ*	4.94	◎				

注) 生育状況の「◎」は良好を、「○」は普通を、「△」は不良を示す。